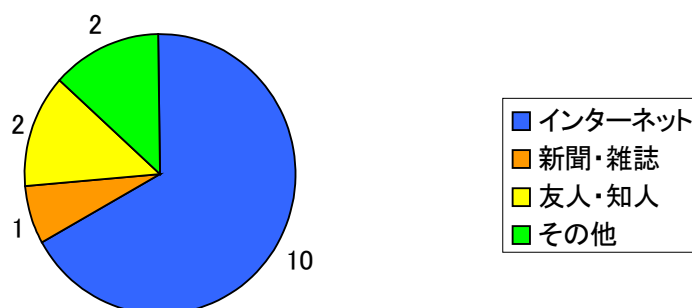


2007. 11. 23 アレクサンドル・リトビネンコ追悼集会 「ロシアの闇とチェチェンの平和を考える」 アンケート集計結果

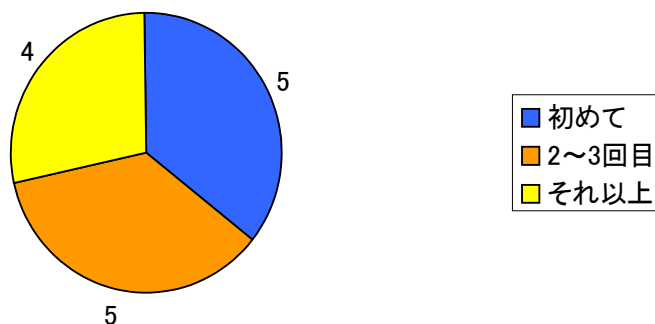
(有効回答 14名)

1. 今日の報告会をどこでお知りになりましたか？（複数回答可）



内訳 ●インターネット チェチェン総合情報・チェチェンニュース・・・3名
 イメージネット／レイバーネット／mixi DAYS JAPAN コミュニティ
 ／日刊ベリタ／JANJAN・・・各1名
 ●新聞・雑誌 週刊金曜日・・・1名
 ●その他 チラシ・・・1名

2. チェチェン関連の報告会・集会には初めて参加されましたか？



3. よろしければ、この集會に参加しようと思われた理由を教えてください。

- 日露交流の研究の為
- ”踊れ、グローズヌイ”を観てチェチェン戦争に関心をもったから
- アンナさんの追悼集會、ハッサン氏の集いに参加できなかった。ぜひ、これに参加したかった。
- 「リトビネンコ暗殺」を読んで興味を持ち、インターネットで検索をして知った。
- 「チェチェンで何が起きているか」を読んで興味を持ちました。
- 「backlight」が観たかったので。
- ロシア政府の陰謀について、まともに活動している団体が少ない様に思います。そのため、前回のアンナ・ポリトコフスカヤさんの集會に続き、参加しました。
- チェチェンや暗殺について、情報が欲しかったから。
- アンナ・ポリトコフスカヤ暗殺に強い衝撃を受け、リトビネンコ事件にも興味を持ったから
- 主には初回の集會でチェチェン問題を考えることは日本のことにつながると教えて頂いたため
- 映像がたくさん上映されるようだったので、見てみたかった。
- ドキュメンタリが上映されること。リトビネンコの本の訳者である中澤氏のトークもあること。
- チェチェンの問題に関心あります。

4. 集會へのご意見、ご感想、今後の活動への希望などがありましたら、お書きください

- 現在のチェチェンの状況を知らせてくださるような内容のものがあれば、ぜひ参加したいです。
- いろいろなことがわかってきました
- これからもサイトなどで拝見しますので頑張ってください。
- リトビネンコという人が大変に魅力のある人物だったという事がよく分かった。聡明で子供っぽく、正直で率直だったと周囲の人が語っていたのが印象的だった。アンナ・ポリトコフスカヤにも感じるのと同じく、彼の中にも世界の秘密や光に触れることができる様な感性が躍動していたのだろうと感じた。アンナもサーシャも、きっと、すばらしい作家や芸術家や学者になることができた様な人物だったと思う。別の世界に生きていたなら彼らは何になりたかっただろうか、とふと思った。そして彼らはこの道をえらんだ。自分の人生よりも巨大な何かに出会ってしまった時、そこから人生の主役が自分ではなく、その巨大な何かになってしまうのだと思う。ジャーナリストにも芸術家にも学者にもそれが当てはまると思う。もちろん自然と対称に生きようとするあらゆる人にも。その彼らにとっての「巨大な何か」が世界の秘密のきらめきではなく、どこまでも広がる、人間の負の暗闇だった事が、胸が痛かった。その重たさが、同じ人間だからよく分かる。父親の「小さな原子爆弾が彼を殺したのです。目に見えないほどの小さな原子爆弾が」という言葉が全てを語っている様に思えた。冷たい雨も、父親の涙も、私自身に重たくリアルに伝わってきた。1年経ってはじめてリアルに伝わってきた。よみにくくてすみません。
- 私の場合、地方にいるので、なかなか情報が入りません。そのため、色々な場面で、情報の発信を

行っていただければ幸いです。また、地方での集會も、行っていただければいいと思います。

●映像が大変迫力があり、良かった。中澤さんの解説も大変わかりやすく、有意義な時間だった。

●FSB 幹部の腐敗ぶりは驚きだ。国家機関がマフィア化することほど恐ろしいことはない。日本も防衛省、厚労省など。ひとつとではない、と感じた。

●ドキュメンタリー2つにとっても見ごたえがあった。私の集中力ではあれだけでもよかった。でも中澤先生のほのぼのとしたお話ぶりに重たい気分が和らいだ。アメリカもロシアも同じようなシステムだなと思った。

●前回のアンナ・ポリトコフスカヤ集會のときは、ビデオが不調でしたが、今回は、順調で、スクリーンも上の方に設置されていて見やすかった。来年3月のロシア大統領選にブコフスキー氏が立候補することが知れて良かった。プーチンを大統領にするために、アパートを爆破するロシア当局。おそろしい。ロシアの疑惑を、徹底追及すると、殺されてしまう。おそろしい。林さん、大富さん、気を付けて。

●「追悼リトビネンコ」のビデオは、インパクトがあった。字幕もわかりやすかった。また、リトビネンコのインタビュー映像（常岡氏）も、貴重なものだと思う。

以上